



人権問題シンポジウム

— 国際女性デー記念 —  
**国際化時代の家族のあり方**

家族における男女の役割分担のあり方や、外国人女性の日本における看護・介護領域での労働実態、また、日本人との結婚で生じる問題等について、意見を交わします。すべての人々が国籍や性別を問わず、安心して暮らせる社会とは？皆さんと共に考えたいと思います。

**2013年3月8日（金）午後1時30分～4時30分**

\*受講無料 (定員240名、当日受付先着順)  
\*手話通訳が必要な方は、2月22日(金)までにご連絡ください。

**場所 ウィングス京都 イベントホール** (京都市中京区東洞院通六角下る東側)

※一般来館者用の駐車場はありませんので、電車・バスをご利用ください。

**次第**

■ 挨拶

■ コーディネーター

■ パネリスト

**安藤 仁介** (センター所長・京都大学名誉教授)

**谷口 真由美** (センター研究第4部長・大阪国際大学准教授)

**斧出 節子** (センター研究員・京都華頂大学教授)

「家族責任と性別分業」

**安里 和晃** (センター研究員・京都大学特定准教授)

「国際的な人の移動と家族」

**マーサ・メンセンディーク** (センター研究員・同志社大学准教授)

「多文化家族と社会福祉実践」

**福嶋 由里子** (センター専任研究員)

「国際結婚家族と外国人女性に対する暴力」



主催 公益財団法人世界人権問題研究センター

共催 京都府、京都市、京都商工会議所

後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK 京都放送局、KBS 京都

※お問い合わせ:公益財団法人世界人権問題研究センター  
(TEL:075-231-2600)